

### 港南区図書館マスコット

## 「こうなんうさぎぼん」に決定

港南区図書館で1月21日、同館の開館35周年記念イベントが開かれ、公募していたマスコットキャラクターの名前が発表された。インターネットキャラで、本や図書館に



トを通じて石川県や愛知県、千葉県からも応募があり、約500件の中から「こうなんうさぎぼん」に決定した。うさぎのキャラで、本や図書館にまつ名前を発表し、あいさつする鈴木館長

### 共同募金会港南区支会

## 桜岡小児童へ感謝状

#### 活動への協力に



学校内での桜岡小児童の募金活動に対し、神奈川県共同募金会港南区支会はこのほど、港南区に感謝状を手にする桜岡小児童に港南区社協提供

会福祉協議会事務所内で4年生児童へ感謝状を手渡した。桜岡小学校4年生は、福祉教育の一環として赤い羽根共同募金について授業で学んだほか、昨年10月には市営地下鉄「上永谷駅」周辺で実際に募金活動を行うなどしてきた。さらに、昨年12月には、学校内において、募金の使い道の資料や募金箱を作り募金活動を実施。3日間で4万5085円を集め、後日4年生

### 港南区子連主催の書道展

## 児童・生徒の力作ズラリ



上大岡を彩る1月の風物詩、児童・生徒が書いた書道作品がショッピングセンター「ミオカ」2階通路にずらり。これは、港南区子ども会連絡協議会(田野井一雄会長)が主催する「港南区子ども会書道展」の展示作品だ。区内の小中学校の児童・生徒の作品が約140点展示されており、買い物客らが足を止め、作品を眺めている。課題は小学1年が『大』『生』、2年『花』『正』、3年『ゆめ』『元氣』、4年『太陽』『新しい友』、5年『希望』『信じる心』、6年『航海』『無限の力』、中学生は『尊敬』『将来展望』の文字。展示期間は2月5日(土)まで。2月12日には表彰式を予定している。

### 第27回 港南区子ども会

## 書道展

会期 一月二十日～二十五日

ミオカ2階通路に掲示してある書道作品

### 不動産問題に対応

#### 宅建協会が無料相談会

(公社) 神奈川県宅地建物取引業協会横浜西部支部は、毎月第3木曜日に不動産無料相談窓口を開設している。不動産の賃貸や売買のほか、近隣との境界・騒音トラブル、更新契約時の疑問、相続時の不動産の所有権移転など、様々な問題に弁護士が対応。

会場は同支部(南万騎が原駅徒歩3分)。次回開催は2月17日(木)、午前10時から正午、午後1時から3時。要予約。

TEL.045-365-5158  
10時～17時(土日祝休)

### チケット販売中

## 東儀秀樹コンサート

#### タウンニュースホール

小田急線東海大学前駅南口のタウンニュースホールで3月5日(土)、雅楽師・東儀秀樹さんを招いた「東儀秀樹 with Shikinamiコン」が開催される。東儀秀樹さんは奈良時代から1300年続く楽家に生まれ、宮内庁楽部在籍時は宮中儀式などに出演した他、海外公演にも参加するなど日本の伝統文化を国内外に広めた。雅楽の持ち味を生かした独自の音楽制作に取り組んでいる。

公演は14時から17時からの2回。料金は全席指定、各前売り9千円、当日9500円。会場は座席数を半分の約80席に抑え、万全を期した体制で行われる。

チケット購入はタウンニュース・エンターテイメント ☎0463・77・0025へ。

### コートジボワール大使ら

## 港南区児童と国際交流

21日、同校体育館に大使ら一行が登壇すると、会場は大きな拍手に包まれた。運動会でのダンスや歌など各学年が、学校での取り組みを大使らに前に発表。その後、コートジボワールではチョコレートの原料となるカカオの生産量が世界1位であることや、カシーナッツが特産品であることなどの説明が大使からあった。

### 郷土警察に防犯カメラ寄贈

#### 「区民の安心にも」

横浜本郷ロータリークラブ(RC)がこのほど、栄警察署に防犯カメラ1台を寄贈し、1月18日に同署で感謝状贈呈式が行われた。同クラブの二宮生恵会長、幹事の野方重人さんが出席し、栄署の松本光好署長から感謝状が手渡された。防犯カメラは栄署の敷地内に設置されるという。同署の担当者は「署には不特定多数の人が訪れるので、不正行為の防止にもなる。来署される区民の安心にもつながる」と話した。

同クラブは4年前から区内各所への防犯カメラ設置に協力しており、二宮会長は「今後、同クラブの理念である『奉仕の精神』でお役に立ちたい」と思いを語った。

### お子様の結婚相談

「うちの子結婚しないのかしら?」「孫の顔が見たい!」独身のお子様を結婚に導くための親御様向け無料個別相談会開催中(出張相談可)。問合せはお気軽に結婚相談所ムスベル横浜店

045-365-5158

いのちをむすぶ写真展

栄区のあるすぶらぎ2階展示コーナーで現在、岸圭子写真展「いのちをむすぶ・佐藤初女」を開催中。入場無料。岸さんはあつとほーむデスク

▼来週木曜2月10日は、通常のタウンニュースに加えて「港南区商店街連合会」特別号も同時発行

### 大船中央病院に聞く

## 就寝前の水分補給と健診

#### 「冬に怖い脳卒中」

場に高齢者の発症が多い要因のひとつは「脱水」と話すのは大船中央病院の副院長で脳神経外科部長の高室暁医師。

暑い夏は汗を多くかくため、こまめに水分補給をするが、寒い冬は「トイレに行くのが面倒」と就寝前の水分補給を怠ることが多いのが要因のひとつという。脱水症状になると血栓ができやすくなり、脳梗塞になりやすい。「日本茶やコーヒーは利尿作用があるので、水または白湯を一口飲んでから寝たい」と高室医師。またスポーツドリンクはカリウムが高いものがあるので、注意が必要という。

生活習慣病が大敵

脳梗塞や脳出血の要因となる動脈硬化が、その原因は高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病だ。高室医師は「血圧、血糖値、コレステロール値が高い人は医師の指示による数値のコントロールが大切」と話す。健康診断で「要診察」と指摘があった場合は、医師に現状を診てもらい、「経過観察や食事・生活改善の指導、または投薬など様々な診断があるが、悪化させないために数値のコントロールを心がけて」と高室医師。

また女性の場合、母親が「こも腹下出血」を発症している場合は、遺伝の可能性もあるので、その旨を医師に伝え、検査を受ける方がいいという。食生活など自身が要因でないことも多く、脳梗塞、脳出血の発症には様々な要因があるので、「若いから」「自覚症状がない」などと自己判断をせず、血圧、血糖値、コレステロール値に変化があれば、すぐに医師に相談してほしい」と高室医師。

### 脳卒中の予防

脳の血管が詰まったり、破れたりすることで起こる脳梗塞や脳出血。寒暖差の大きい冬は注意が必要だ。「以前はトイレが外にあるなど室内外の寒暖差により、冬の脳卒中の発症が多かったが、今でも依然として冬

副院長兼脳神経外科部長  
**高室 暁** 医師

生活習慣病への対応は30代、40代から心がける必要で、年に一回の健康診断を奨めている。高室医師は「自営業・フリーランスの方、主婦の方も健診の機会を逸せず受けて欲しい。『病気になる前に』薬を飲んでいない」と、「病気がない」とは違うので、若いからと安心しないで」と呼び掛ける。

社会医療法人財団互恵会  
**大船中央病院**  
☎0467(45)2111(代) 鎌倉市大船6-2-24  
大船中央病院 脳神経外科 検索

### 地域密着

## 求人情報

地元で発見! 新しい仕事情報!!

タウンニュース 港南区・栄区版

16年に94歳になるまで「食と命への祈り」をテーマに活動を続けた。

展示は3月27日までの予定。☎045・800・62121